

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	13	-	事業名	国際化事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	----	---	-----	-------	------	---------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	7	地域全体で国際交流を進める	款	2	総務費
		施策の進め方	-		項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	10	国際化事業費
		政策分類	1	住民の力を生かした新しい役割分担の仕組みをつくる	大事業	2	国際化事業
	その他(関係法令、要綱等)		長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱				
事業開始の背景、経緯等		平成4年度にベルギー王国ワテールロー市と姉妹都市友好提携を結び、交流を続けている。市内外国人や留学生と市民との交流を推進する事業を実施している。また、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内に生活する外国人や留学生と市民との交流を図りながら、次の多文化共生に係る事業を推進する。 ①ベルギー王国ワテールロー市との姉妹都市交流 ②国際交流協会					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流に対する関心、相互理解を深める。					
	事業を構成する事務事業	① 国際化事務事業	拡充	④			
	② 国際交流協会補助事業	拡充	⑤				
	③ 姉妹都市事業	拡充	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算	/	/	9,590	7,652	5,933
			決算	/	/	8,565	3,022	
	人件費(B)	千円	決算	/	/	9,166	5,729	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	17,731	8,751		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 国際交流協会事業参加者総数	人	目標	-	5,000	3,500	4,400	3,300
			実績	-	5,500	4,000	3,000	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 国際化事業として具体的に市民参加している国際交流協会事業への総参加者数を、その成果指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 瀬戸市、日進市、尾張旭市、東郷町、豊明市
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 国際交流協会事業の参加者実績は、H27年度から大幅に減少し目標に達成しなかった。文化の家改修の関係で事業実施内容や時期を変更したことが要因の一つと考えられる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民主体の事業形態とするのを目的に市国際交流協会事務局を分離・独立させるために、市と協会の事業を明確化し、独立のための具体的な方策を検討する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市が行う国際化事業の明確化及び市国際交流協会の市から事務局分離独立についてスケジュールを明確化する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 国際交流協会事務局独立に際し、円滑な移行、また、独立後より良い運営となるための準備を完了する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業										
番号	①	事務事業名	国際化事務事業		款	2	項	1	目	10	大	2	中	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成4年度		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民及び行政が国際交流を行うための、大使館等への出張旅費、表敬訪問対応、国際郵便等の筆耕翻訳国際交流等を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	他団体との交流を通して、国際交流に対する関心、相互理解を深める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			451	789	789
		決算			259	212	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
表敬訪問回数	回	目標	3	3	3	3	3
		実績	2	1	2	1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

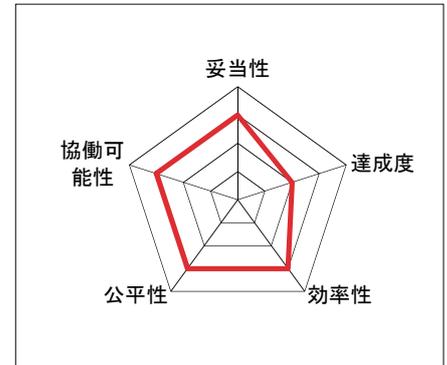
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
国では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るため、「ホストタウン構想」を展開している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
表敬訪問等は相手方の都合もあり、一定の回数を継続することは困難であるが、訪問者と継続的に情報交換等を行い、良好な関係を維持する。
(何をどのような状態に改善したのか)
表敬訪問後の訪問者との繋がりを維持するため、ホームページや庁内掲示板等を通じて市民や市職員への広報を実施した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
表敬訪問等を通じて情報を得て、市民等へ広報・周知することで市民レベルの国際交流への関心を深めることができる。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
表敬訪問の実施は頻繁にできるものではないため、市民等への広報・周知をより多くし国際交流理解を深めるために他の方策を考える必要がある。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
これまでの取組に加え、2020年の東京オリンピックに向けて、ホストタウン構想の推進に向けた取組を実施していく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業									
番号	②	事務事業名	国際交流協会補助事業	款	2	項	1	目	10	大事業	2	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成6年度	終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	長久手市国際交流協会を、市民、大学、企業と行政とをつなぐパイプ役として位置づけ、協会に対し、事業費を補助する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	協会員が自主的・自発的に国際理解や国際協力のために必要な施策を展開できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			4,796	2,923	2,970
		決算			4,796	2,688	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
国際交流協会個人会員数	人	目標	450	460	500	500	500
		実績	392	487	421	397	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

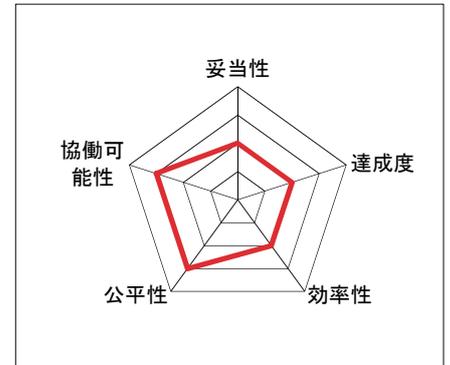
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
現在、協会事務を市職員が兼職で行っているが、専任の職員を協会に雇用し、より魅力ある国際交流事業を実施していけるよう取組中である。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今後は、長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、協会事業の見直しに合わせて、本事業についても補助額の再検討といった見直しが必要と考える。
(何をどのような状態に改善したのか)
長久手市国際交流協会独立を視野に入れ、協会事業と市事業の区別を明確化し、予算計上を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
長久手市国際交流協会独立を視野に入れ、協会事業と市事業の区別を明確化し、予算計上を行った。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
長久手市国際交流協会では、独立に向けて自立した運営を模索しているが、ボランティアによって成り立っていることもあり、難航している。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
長久手市国際交流協会の事業内容の見直しを含めた補助額の再検討を行う。また、国際交流協会の事務の効率化を図り、独立を進めることにより、民間による幅広く多彩な事業展開の実現を目指す。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業										
番号	③	事務事業名	姉妹都市事業		款	2	項	1	目	10	大	2	中	3
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成4年度		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	市民及び行政が姉妹都市ベルギー王国ワートルロー市との友好親善を深めるための訪問団相互派遣、国際郵便筆耕翻訳等を行っている。
	(対象をどのような状態にしたいか)	国際交流に対する関心、相互理解を深める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			4,343	3,940	2,174
		決算			3,510	122	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
市民訪問団応募者数	人	目標	20	—	10	—	—
		実績	38	—	10	—	—
ワートルロー市からの訪問団受入数	人	目標	—	12	—	—	10
		実績	—	12	—	—	—

4. 事務事業を取り巻く環境変化

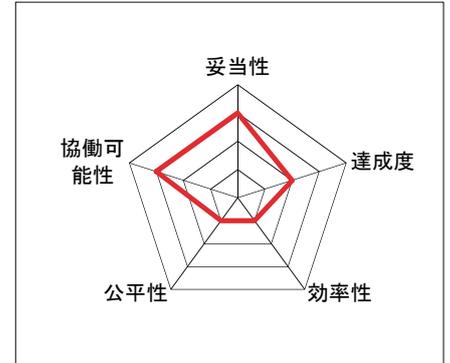
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、姉妹都市交流については市事業として実施していく。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今後は、長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、姉妹都市訪問団派遣について、協会と市の事業分担の見直しが必要と考える。
(何をどのような状態に改善したのか)
平成28年度は派遣事業が中止となったが、市と協会との役割分担は明確化できてきている。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	1
公平性	1
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
国際交流協会と共催し、姉妹都市交流の啓発事業を実施することができた。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
青少年姉妹都市訪問団の行き来が数年滞っており、直接の交流が少なく、市民等の姉妹都市の認知度が低下している。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平成28年度は長久手市からワートルロー市へ青少年姉妹都市訪問団を派遣する予定であったが、欧州の情勢を考慮し、派遣を取りやめたため、その分の委託費等を使用せず予算額と決算額に大きな差が生じた。現状の取組は、受益者が限定されている取組が多いため、今後はより広い範囲が対象となる取組を検討する。